



# THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

2014

# ひがし

12



C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY  
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039  
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

国際会長	主題 「言葉より行動を」	標語 「今すぐやろう!」	アイザック バラシンカル (インド)
アジア会長	主題 「未来を始めよう、今すぐに」	標語 「ひとつのアジア、世界はひとつ」	岡野 泰和 (大阪土佐堀)
西日本区理事	主題 「響き合い、ともに歩む」		
九州部部長	—こころ豊かにワイス活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく—	松本 武彦 (大阪西) 亀浦 正行 (熊本にし)	
	主題 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」		

熊本ひがしクラブ

会長主題:「美しく生きる」

第11代会長 横田 博

スローガン:「マイペースで輝こう」

## ノルディック・ウォーク 2回目体験会開催



## 11月第1例会

12月  
強調月間

EMC-  
E・YES

E (Extension)

Y E S  
(Y's Extension  
Support)

「見よ、おとめが見ごもつて男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイ福音書 1章 23節

11月30日から待降節に入りました。クリスマスの4週前の日曜日から始まります。クリスマスまでの備えのときです。

マリアとヨセフは婚約していましたが、聖霊によつて妊娠しました。當時はゆるされることがなかつたので、ヨセフは婚約を解消しようと考え、悩んでいました。ヨセフの夢に天の使いがあらわれ、「恐れず」マリアを妻として迎えるように伝えたのです。ヨセフはその通りにしました。ヨセフという人の信仰にふれました。ヨセフは自分の判断にしばられるのではなく、神さまの御計画に従いました。

わたしと共にいて下さるのです。知らずにいても、忘れているときでも、このことを感謝して受け止め、待降節を過ごしたいと思っています。インマヌエル。神さんは必ず

今月の聖句

11月例会出席記録	在籍会員数 23名	第1例会 17名	第2例会 10名	メイカップ 1名	
	例会出席率 78.3%	出席総数 31名	ネット、コメット 10名	ゲスト・ビジター 6名	

## 会長通信



### 時と出会いを確かなものに

会長 横田 博

12月です。4月にチャーターしたスピリットクラブと合同でクリスマス例会を開催することができることを感謝します。

スピリットクラブは東部YMC Aのサポートをしています。先日の東部祭（11月16日開催）でも、トンテキを120枚焼いて貢献されました（もちろん完売）。わたし自身は留学生との交流もあり、楽しんで参加させてもらいました。その東部YMC Aで学ぶ留学生も、本日参加されます。

7月に阿蘇で開催したキャンプ以来、留学生との方々との出会いが与えられています。願うことは、一つひとつの出会いを確かなものにしてほしいということです。素通りするのではなく、出会いによって人生を豊かにしてください。そして自分のためだけでなく、他の人のために生きる歩みを進めていてほしいものです。

11月29日、八代クラブ25周年記念例会にクラブのメンバーと共に参加しました。八代クラブは毎年夏にデイキャンプを行い、17年継続しておられます。メンバーだった小学生が、卒業後はキャンプリーダーとして育っています。保護者の方は「家族だけではできない経験をさせてもらっている。成長の基盤とも言える人づくりをして下さっていることに感謝しています。」と述べておられました。

この八代にYMC Aを設立すべく、わたしも設立準備委員の一人として努力しております。25年前、八代ワイズメンズクラブが設立されたとき、わたしはワイズメンではありませんでした。しかし、今この時こうして役割を与えられています。不思議な気持ちをもちながらも、この務めを誠実に果たしたいと思っております。人口減少、過疎化など課題も多くありますが、だからこそYMC Aが必要だと思い、力と祈りを合わせていきます。

本日は、東菜保子さんの入会式です。入会式はクラブの大きな喜びです。歓迎と共に感謝です。ワイズメンになると、これまでとは違う世界が開けます。どうか、十分に楽しんでください。

駆け抜けてきた2014年も師走。この力をさらにパワーアップして、全力でワイズダム発展のため2015年も邁進していきましょう！



東部祭  
留学生のステージを楽しむ

## 考 EMC

### 九州部EMC主査半期を終えて

早いもので、もう主査を受けて半期が過ぎようとしています。自分なりの目標もたて進んで来ましたが、何も分からずここまで来た感じは否めません。今までの状況では、まだ新入会者は3割少ししか達成できていません。各クラブのワイズ活動他に対する活性化については、殆んど出来ていない様な気持ちです。

しかし、熊本に於いては初めての熊本ヤングクラブ主催による「ハピネスパーティ」を開催し、40名以上の参加を見、その他クラブ及び関係者を含めると60名以上の参加があり、ワイズメンズクラブ並びにYMC Aを知ってもらうキッカケにはなったと思います。できればその中から新入会者が出来れば最高ですが、今後も継続的に行う事が大事だと思います。

また今期最大の九州部としてのイベントも3月半ば行われます。これを是非成功させ、今後の九州部としての活動と出来ればと思います。

(直前会長・九州部EMC事業主査 宮崎隆二)



# 理事通信

2014年12月号  
12月1日発行



## 主題：「響き合い、ともに歩む」

“Walk Together, Echoing Each Other”



御堂筋イチョウ並木の夜景

— 心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —  
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

これまで述べてきたことですが、ワイズメンズ運動は、YMC Aや地域社会・国際社会への奉仕活動を通じて自己を鍛える機会と交流の喜びを得ることに大きな意義があり、社会的必要性もある、ワイズメンズ運動はまた、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをしている、と確信しています。私たちのワイズメンズ運動は、次世代を担う人々をも励まし続ける貴重な活動であり、これを次世代につなげてゆかなければなりません。そのためには、周りの人たち、特に、次世代を担う若い人たちに、ワイズメンズ運動を、まず、身近なものとして感じ取ってもらう機会を作らなければなりません。周りの人たち、特に若い人たちをクラブ例会やクラブ行事に誘い、私たちのワイズメンズ運動に馴染んでもらいメンバーとなつて貰うための工夫が必要です。クラブ例会を多数参加の盛り上がりのある集いとするこの工夫も大事かと思います。このような機会を作る工夫のひとつとして、西日本区内の各地・クラブにおいて、100人例会や合同例会を開催してビジターを誘い、例会プログラムをワイズと一緒に楽しんで頂く催しが行われています。例会参加者数が多いことは、そのことだけでも、ビジターに対し、参加したことの喜びを大きなものとさせることに繋がります。

先月、我々の仲間二人の力強い社会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されました。福岡中央クラブメンバーであつて、1987年、享年68で人生の終末を迎えた杉山龍丸さんのインドにおける緑化運動を取り上げたテレビ東京系11月4日(火)午後7時からの報道番組「ありえへん∞世界<世界と日本の知られざる絆>インド編」がその一つ。二つ目の報道は、鳥取クラブメンバーである藤原和寛さんの、故郷・鳥取県智頭町における地方活性化のためのお働きを取り上げたテレビ朝日系11月15日(土)午後6時からの報道番組「人生の樂園 夫婦で探す故郷の宝」です。藤原さんは、かつて農業で栄えた自分の故郷が次第に衰退していく様子に胸を痛め、故郷をもう一度元気にしたいと5年前、52歳で早期退職し、奥さまと一緒にUターンして、地元の杉を使った木工を始めるとともに農業にも取り組み、地元の活性化につなげるため、廃校となった地元小学校の校舎にギャラリーをオープンし、また、地元の方々と男子会や女子会をもって懇親するとともに集落の未来へ向けた話し合いをするなどして、地域の活性化のため、日々奮闘しておられます。藤原さんの地元・智頭町でのご活躍は他の地方の人々にも映って日本のあちこちの地方の方々を勇気づけ励ますでしょう。これらの報道ではお二人がワイズメンであることには触れられていませんが、私たちは、お二人の社会活性化のための力強いお働きに勇気を貰い、これからワイズメンズ運動を盛り上げて行こうではありませんか。

### ◇今期メネット事業国内プロジェクトに係る報告とお願ひ

11月8～9日「西日本区第2回役員会」において、メネット事業主任から「今期メネット事業国内プロジェクトに係る事業計画等の見直しについて」が提出され、その結果、以下3点の議案動議がそれぞれ可決されました。

1. 今後の啓発活動については、ユニバーサルフィールド、SORD両団体の講師採用はやめて、他の適切な団体等を探して講師に用いる。なお、希少難病患者としての中岡亜希さんを個人として講師に招くことは排除しない。

2. 献金先については、ユニバーサルフィールド、SORDには献金しないこととし、適切な研究者・研究機関を

メネット事業委員会、常任役員会において精査・協議して決定する。

3. 献金活動については、今後も継続してお願ひしていくものとする。

◇ 後期半年報の提出についてのお願い 12月中旬に後期半年報のご案内を「半年報」用紙添付の上クラブ会長に送ります ①記載内容の期日：1月1日現在 ②提出期限と提出先：1月10日までに部長へ

### 12月強調月間 EMC-E・YES

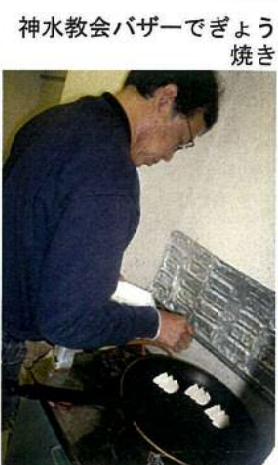
EはExtension(新クラブ設立)、YESは、新クラブ設立を支援する基金です。この献金で集められた資金の2/3は、集められたエリアに戻され、エリアの中で使われます。

E(エクステンション・新クラブ設立) M(メンバー・シップ・会員間の交流 親睦 新会員の獲得) C(コンザベーション・クラブの基盤 健全な維持 存続と意識の高揚)とあります。

E・YESを達成するためには下記の事が重要になって来るのではないでしょか。Cが基盤でMがありその上にEが乗ると考えC基盤→規律の有る例会作り(時間厳守・プログラム構成・司会進行の重要さ等)M親睦→メンバー増強は親睦からだと思っております。クラブレベルでメンバーへ説明するのも大事で、まずは慣れてもらう事から始めましょう。そこからは皆様のワイズ力で・・・

EMC事業主任 河原正浩(京都トップスクラブ)

## YMCAサービス 地域奉仕 健康増進



菜理コメット(左)販売中  
横田会長とメネットも

はが博之くんも頑張りました

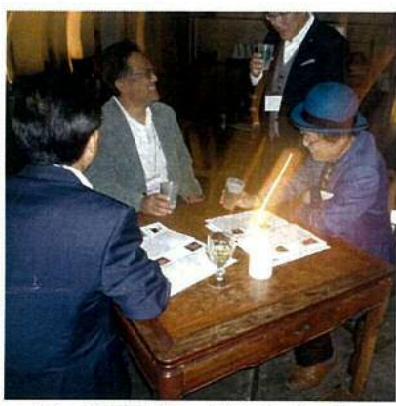
ノルディックウォーキングの指導者・松坂先生  
(上の写真 右の方)



竹んぼ募金箱を第2例会で持ち寄りました  
水前寺幼稚園バザーの応援(左2枚)  
馬場ワイズの会社の増永さんも



こちらは誰?



ヤングクラブ・ハピネスパーティ



東部祭 スピリットのコメットたち



## メネットコーナー

### 熊本地区メネット交流例会

今年は、むさしクラブのホストで西村メネット事業主任、亀浦九州部部長、亀浦九州部メネット主査をお迎えし、84名の参加で盛会でした。西日本区の中でも熊本地区だけがメネット交流例会を行っており、キャビネットの皆様も驚かれていました。

会場は、秋吉メネットがピンク系やイエロー系などの紙で作られたバラの花がテーブル中央に飾られ、とても華やかで和やかな雰囲気でした。卓話は、今期のメネット事業主題に基づき、「遠位型ミオパチー」という希少難病の患者であり、その支援活動をされている中岡亜希さんでした。希少のため理解されず、研究も薬の開発も国の支援もないということでした。

ひがしクラブでは、事前に例会でDVDを見た上で、ドクターの菅ワイスから希少難病についての話を聞きました。聞き慣れない病名を知り、少しでも理解を深めることも支援の一歩かもしれません。

鹿児島からも参加され、ファンドとして毛糸で編んだエコたわしがありました。

ジェーンズクラブは、南相馬市の被災者の方々が作成されたピンクッション、阿蘇クラブはワインナーの販売など、交流例会を賑やかなものにしていました。

今回も熊本地区のメネットが集まり、有意義な会になったと思います。

(メネット会長 横田治美)



### 日野原先生 103歳記念講演

11月15日（土）に開催された日野原重明先生103歳記念講演に行きました。

必由館高校の和太鼓部の演奏でオープニング、主催である「新老人の会」の紹介がありました。「新老人の会」は、日野原先生が提唱された「新老人運動」の趣旨に賛同する方々の集まりで、老人の新しい生き方を提唱している会だそうです。全国で11500名熊本では320名の方がいらっしゃるそうです。

そして、「いのちを守り、平和を築く」—私たちが伝えていくべきものは何か—と題しての講演が始まりました。自分の命がどうして与えられたかを考え、自分に与えられたこれから的人生（時間）を人のために捧げること（行動力）が大事であるといわれました。よく生きるために、出会いから学び、生き方を変え、老を創めて、自分の運命をデザインする（運命を諦めない）、運命を受け入れて生きる。ひとりひとりのいのちが大切に守られることにより、互いに許し合う事。これによって平和はもたらされる（非戦）。それをこどもたちに語り継けておられることなど話されました。

日野原先生の講演は、音楽といっしょに行われるそうで、今回も月足さおりさんのピアノコンサートとVientoの歌が予定されていました。残念ながら音響の都合でピアノ演奏はありませんでしたが、阿蘇をテーマにした音楽を中心としたコンサートがありました。また、休憩の時間には、中村賢次郎ワイス（ながみねF館長）により日野原体操の紹介がありました。

日野原先生の103歳とは思えない生き生きしたお声と、ユーモアに満ちたお話にたくさんの元気をいただきました。

(メネット 加藤喜美代)

## 「Y M C A・ワイズの源流」の学び！ ⑪



**田村 直臣** (たむら なおおみ)

1858 (安政5) 年9月15日～1934 (昭和9) 年1月7日

日本基督教会牧師

大阪堂島天満与力の家に生まれる。少年時代、兵学校に学んだ。

1873 (明治6) 年、東京に出てカラズルス、C. の築地大学校に入学。同夫妻の感化により1874年4月受洗した。この時一緒に受洗した戸川残花 (安宅)、原胤昭らと、同年10月東京第一長老教会を設立。77年10月、東京一致神学校が設立された際、2年に編入、79年卒業。同年、フルベッキ、G. H. F. によって按手礼を領し、銀座教会牧師となる。

1880年、小崎弘道、植村正久らと東京青年会を設立し、「六合雑誌」の刊行に参加する。82年アメリカに留学。オーバーンおよびプリンストン神学校に学び、86年帰国。銀座 (長老) 教会が改称した数寄屋橋教会に着任。1919 (大正8) 年に教会を巣鴨に移転し、巣鴨教会と改称。生涯その教会を牧した。

1892年、英文「日本の花嫁」を著わしたが、日本の恥辱を外国に紹介したとの理由で、日本基督教会教職を免ぜられた。植村正久没 (大正14年) 後復帰した。

伝道者養成のために日本伝道学校、苦学生のために自営館を経営した。また特に日曜学校教育に尽力し、1906年日本日曜学校協会が組織された際に初代会長となり、13年継続の級別教案による教科書を完成した。第2回全国基督教信徒大親睦会で演説し、第1回夏季学校の講師を務め、足尾鉱毒事件で救済に尽力するなど、幅広い活躍ぶりを示し、内村鑑三、植村正久と共に「三村」といわれた。

著書も多く、主なものに「信仰五十年史」(1923)、「二十世紀日曜学校」(1907)、「児童中心のキリスト教」(1925)、「児童の宗教」(1926)、「宗教教育の手引き」(1928) などがある。

(文・企画 歌野清三)

## 第一例会報告

11月3日（月・祝）昼間は神水教会のバザーで、ぎょうざを焼き、販売してバザーに貢献したその日の夜、熊本テルサで第1例会が行われました。

今期の西日本区ネット事業主題に基づき、DVDを視聴。「希少難病患者を孤立させない」というテーマで学び、医師・菅ワイズから補足説明を聞きました。知ることが大切。知ることによって、学びを続けたり、行動に結びつけることもできるのだと思いました。

社会福祉士である神谷公省ワイズの卓話もあり、「放課後の子ども達の居場所はどこ…」という問い合わせをお聞きしました。お仕事の関係上、色々な場面にあい、こどもが「ただいま」と言えて、「お帰り」とこたえてくれる人がいる、場所がある。その確保が重要と話して下さいました。YMCAの地域での活動につながるお話だと思いました。

スペシャルオリンピックス熊本の事務局長・石原靖也氏も来場され、学びの多い例会でした。

ビジターも多く、岩本芳久ワイズ紹介の東菜保子氏、サントリーの後ワイズの後任である中本一氏、横田会長紹介の川口雄輔氏が参加されました。EMC拡大に期待できる例会が10月、11月と続いています。中本氏は後日、江津湖広木公園で行ったノルディック・ウォーク体験会にも参加されています。

11月例会はネットを中心の例会でした。横田メネット会長の乾杯挨拶、堀原メネットの食前感謝。恒例のひとことメッセージもメネットから近況などを聞き、和やかな例会でした。(平山美保)





## Y M C A 通信

連絡主事 中村賢次郎

### 【国際協力青少年育成年未募金】

2014年度の  
募金活動がスタートしました。  
今年度の目標は『1,500万円』。

多くの募金、寄付を集めるとい  
う事は、Y M C Aを通して社会に  
貢献する機会に賛同いただくこと  
です。皆様からもお知り合い、お  
取引の企業の方々へぜひご紹介お  
願いします。



10月30日、キックオフ集会

### 【日野原重明先生講演会】



103歳現役ドクター・日野原重明先生の講演会をサポートしてきました。  
1,200名を越える来場者が、先生の元気な姿に感動と元気をもらっていたよう  
です。「与えることは得る事」の聖書の箇所を引用されるなど、  
生き方、いのちの使い方など考えさせられるお話をしました。私も1,200名  
に体操指導をして健康づくりを伝える機会を与えられました。歌野さん、  
堀原さん、Y M C A学院の学生たちもお手伝いに来ていただき、大盛況  
の講演会でした。



### 【市民クリスマス チャリティコンサート】

12月16日（火）『陣内大臘』

クリスマスコンサートが行われます。ご家族、お友だちと  
素敵なクリスマス前のひと時をお過ごしください。

### 【街頭募金活動】

12月7日（日）ゆめタウンサンピアン、  
シユロアモール長嶺、サンロードシティ熊本  
12月21日（日）健軍商店街にて街頭募金活動を行います。  
時間は14：30～16：00です。皆さんご協力よろしくお願いします。

壇上（左）にいるのが中村館長  
日野原体操を紹介

### 【チャリティクリスマス祝会】

12月13日（土）子どもたちとリーダーと一緒にクリスマスをお祝いします。クリスマスの本  
当の意味を、子どもたちと考える会として大好評です。

3月ぼうさい  
探検隊の日、  
竹んぽ募金箱  
を作りました

## 良く生きる

### ワイズ活動の人脈づくり

歌野 清三

「人脈は宝！」、「人脈なくして鉱脈なし」 「人脈」の力は強大で偉大である等と言われるように、人ととの深いつながりが如何に大切であるかがわかる。私は、警察社会にお世話になった関係で、ビジネス社会のことは、あまりわかりませんが、情報を得るために、多少危ない交わりもあったことを思うと、人脈が人生を左右することだってあるように思います。

現在、熊本YMCAでもメンターが話題になっていますが、メンターとの出会いがきっかけで人生が確実に変わります。自分のことを心から応援してくれて、協力を惜しまない、影響力のある人と出会うように高い目標を持つことが大事だと考えます。

ある起業家が語っている書物に人脈づくりが上手な人がやっている6つのことが目につきましたので、転記してみます。①笑顔 ②友だちを作る ③目の前の人々に集中する ④他人としてではなく友人として扱う ⑤与える ⑥心を開いて会話をする

逆にせっかくいい人脈を作れるチャンスでありながら、意外なポイントを間違えてしまうタイプの紹介記事もありました。①連絡をおざなりにしてしまう人 ②情報や人脈を囲い込む人 ③依存してしまう人

人脈づくりには多くの努力も必要と思います。簡単なことではないでしょう。身につけるには訓練や練習が必要です。ワイズのE. M. C. 活動にも活用できると考えます。例会や会食の際に検討課題として討議していかがでしょうか。

### 「いざたて」

- 1 いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに  
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン  
絶えせず めあて望み この身を捧げつくさん
- 2 歌えば 心ひとつに ともがき ひろがりゆきて  
遠きも近きもみな ささげて立つやワイズメン  
栄えとほまれ豊か まことは胸にあふれん

### 「なごりはつきねど」

なごりはつきねど つどいは果てぬ  
きょうひとひのさち しずかに思う

## 12月ファミリークリスマス例会

12月 1日（月）19:00

ネストホテル熊本  
司会 馬場 淑之  
齋藤 宙也

クリスマス礼拝（別紙）

スピリットチャプレン 十五もと 角本 浩

開会宣言・点鐘 熊本ひがし会長 横田 博  
ワイズソング「いざたて」 全 員

会長挨拶 横田 博

ゲスト・ビジター紹介

入会式 東菜保子氏 S P 岩本芳久

食前感謝 平山 美保

乾 杯 熊本ひがし副会長 田上 裕章

食 事

☆パーティー ドライバー委員会

パーティー ゲーム

ダービーゲーム

ハッピーバースディ&amp;アニバーサリ紹介

なごりはつきねど

閉会宣言・点鐘 熊本スピリット会長 紫垣 正仁

## 12月の予定

12月 1日（月） ファミリークリスマス例会  
ひがし&スピリット合同例会  
19:00 ネストホテル熊本（旧チサン）

12月 7日（日） YMCA街頭募金

14:30～16:00 健軍商店街他3カ所

12月 16日（火） 市民クリスマス  
チャリティコンサート 陣内大蔵

19:00 くまもと森都心プラザホール

12月 21日（日） YMCA街頭募金

14:30～16:00 YMCAに申し込んでください

12月 21日（日） 第2例会

17:00 ながみねF YMCA

12月 27日（土） ポトラック忘年会

17:00 菅ワイズ宅

1月 9日（金） 新春例会 19:00 ニュースカイ

### ハッピーバースディ&アニバーサリ

#### 12月バースディ

14日 白木 尚登 22日 三池 裕幸

#### 12月アニバーサリ

3日 大澤博文&amp;玲子

22日 田上裕章&amp;かな子

#### 第2例会 11月17日（月）ながみねF

出席 横田、宮崎、田上、門永、加藤、菅、馬場、三池

中村、メネット 横田、菅、加藤 平山俊

①12月第1例会 スピリットと合同 ネストホテル

東部留学生3名、益城ルネサンス選手3名招待

②EMC 9月退会者・松村賢司 12月入会・東菜保子氏

③新春例会について話し合う。